

教科	地理・歴史	科目	世界史A	単位数	2
学年	1年	教科書	改訂版 世界史A (第一学習社)		
学科	全学科	副教材	使用なし		
学習目標	①近現代史を中心とする世界の歴史が、どのように展開されてきたかを学習します。 ②人類が直面する課題を、政治、経済、文化、生活など様々な観点から理解、考察してゆきます。				
学期	単元		学習内容・学習のねらい		
1	1	世界史へのいざない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類が文明を築き、各地域世界が形づくられていく過程を学習します。</li> </ul>		
	2	世界の一体化と日本 (1) ユーラシアの諸文明 (2) 結びつく世界と近世の日本 (3) ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア、西アジア、ヨーロッパ、アメリカなど各地域の諸文明の特徴を学習します。</li> <li>・16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパの枠組みとなった主権国家体制の形成について学習します。</li> </ul>		
	2	(4) アジア諸国の変貌と近代の日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進んでいく過程を学習します。</li> </ul>		
2	3	地球社会と日本 (1) 帝国主義の時代 (2) 世界戦争と平和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る20世紀前半の国際社会の大きな流れを学習します。</li> <li>・戦後の国際情勢の大きな流れを理解し、現代の諸問題と関連づけて考察を深めます。</li> </ul>		
	3	(3) 三つの世界と日本の動向 (4) 地球社会への歩みと課題			
課題	①夏休み課題 世界史に関する人物や事物を取り上げ、興味・関心を高めます。 ②冬休み課題 世界史に関する人物や事物を取り上げ、興味・関心を高めます。				
評価の観点		内 容			
I 関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・世界の歴史に関心をもち、意欲的に探求しようとする姿勢がある。</li> </ul>			
II 思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識をもって、歴史的事象や人類の課題を意欲的に思考・判断し、追求しようとしている。</li> </ul>			
III 資料活用の技能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界史で活用する様々な資料から、歴史的背景や文化的特徴などを読み取ることができる。</li> </ul>			
IV 知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の歴史について大きな流れを理解している。</li> <li>・世界の諸地域の歴史的特色を理解している。</li> </ul>			
評価方法	四つの評価の観点の達成度を、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価する。(100点法)				

教科	地理・歴史	科目	日本史A	単位数	2
学年	2年	教科書	高等学校 改訂版 日本史A (第一学習社)		
学科	全学科	副教材	使用なし		
学習目標	① 近現代史を中心とする日本の歴史が、どのように展開されてきたかを学習します。 ② 日本社会が直面する課題を、政治、経済、文化、生活など様々な観点から理解、考察します。				
学期	単元		学習内容・学習のねらい		
1	1 近代国家の形成 (1) 近代への胎動 (2) 明治維新 (3) 近代国家の成立 (4) 対外関係の変化		<ul style="list-style-type: none"> <li>幕末から明治時代にかけて近代国家を形成していく日本社会のダイナミックな過程を学習します。</li> <li>自由民権運動に取り組む人々と国会開設に向けた政府の取組みを学習し、立憲国家の樹立に向けた先人の志を考察します。</li> <li>条約改正や日清・日露戦争における国際関係を学習し、広い視野に立って日本がとった針路について考察します。</li> </ul>		
2	2 両大戦をめぐる国際情勢 (1) 第一次世界大戦と日本 (2) 第二次世界大戦と日本		<ul style="list-style-type: none"> <li>両大戦の背景を国内外の情勢から学習します。また、両大戦が国民生活や諸外国(地域)に与えた影響について考察します。</li> <li>戦争の惨禍について、戦時下の体験、本土空襲、原子爆弾の投下等を取り上げて学習します。</li> </ul>		
3	3 現代の日本と世界 (1) 日本の再出発 (2) 独立後の政治と対外関係 (3) 経済の発展と国民生活		<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後の復興に取り組む日本社会の力強さについて考察します。</li> <li>占領下で進んだ民主化政策が日本社会に与えた影響について学習を深めます。</li> <li>経済成長を遂げ、経済大国となっていく過程を学習し、豊かさの中で日本社会がどのような変化を遂げてきたのかを考察します。</li> </ul>		
課題	① 夏休み課題 日本史に関する人物や事物を取り上げ、興味・関心を高めます。 ② 冬休み課題 日本史に関する人物や事物を取り上げ、興味・関心を高めます。				
評価の観点		内 容			
I 関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>日本と国際社会の関係に関心をもち、意欲的に探求する姿勢がある。</li> </ul>			
II 思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>課題意識をもって、歴史的事象や人類の課題を意欲的に思考・判断し、追求しようとしている。</li> </ul>			
III 資料活用の技能		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本史で活用するさまざまな資料から、歴史的背景や文化的特徴などを読み取ることができる。</li> </ul>			
IV 知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の歴史について大きな流れを理解している。</li> <li>日本と国際社会の関係やその歴史的特色を理解している。</li> </ul>			
評価方法	四つの評価の観点の達成度を、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価する。(100点法)				

教科	地理・歴史	科目	地理A	単位数	2
学年	2年	教科書	基本地理A (二宮書店) 高等地図帳 (二宮書店)		
学科	全学科	副教材	使用なし		
学習目標	①地球や環境の基本的事項を理解させ、世界の諸地域に関する知識理解を深めます。 ②人類が直面する課題を、環境問題や食糧問題などの視点から理解し、考察します。 ③地図の読図技能を身に付け、防災への意識を高めます。				
学期	単元		学習内容・学習のねらい		
1	1 球面上の世界 2 自然・生活・文化と私たちの暮らし		<ul style="list-style-type: none"> <li>緯度や経度など地球に関する基本的事項をしっかりと理解します。</li> <li>地形や気候など環境が人間生活にあたる影響を理解し、考察します。</li> </ul>		
2	3 世界各地の生活・文化		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域の生活や文化に対する理解を深めます。</li> <li>調べ学習を通して、資料を活用する技能を身に付けます。</li> </ul>		
3	4 地球的課題 5 生活圏の諸課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>地球規模で起こっている様々な課題を考察します。</li> <li>身近にある様々な地図の見方や活用方法を理解します。</li> <li>日本の自然環境の特色を理解し、防災への理解を深めます。</li> </ul>		
課題	①夏休み課題 興味のある国を具体的に取り上げ、資料を活用し調べ学習を行います。 ②冬休み課題 地球環境問題や防災問題について、調べ学習を行います。				
評価の観点		内 容			
I 関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>地理的分野に関心をもち、意欲的に探求しようとする姿勢がある。</li> </ul>			
II 思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>課題意識をもって、意欲的に思考・判断し、追求しようとしている。</li> </ul>			
III 資料活用の技能		<ul style="list-style-type: none"> <li>地理で活用する様々な資料から、環境的特徴や文化的特徴などを読み取ることができる。</li> </ul>			
IV 知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域について、環境的特徴や文化的特徴を理解している。</li> <li>身近にある様々な地図の見方や活用方法を理解している。</li> </ul>			
評価方法	四つの評価の観点の達成度を、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価する。(100点法)				